

写真・動画共有アプリ Instagram（インスタグラム）の新規運用について

現在、施設利用者や町民向けの情報発信ツールとしてLINEのタイムライン機能を利用しているが、過日開催された職員研修「住民に伝わる広報デザイン術」では、LINEのトーク機能は全年代で高い利用率であるが、タイムライン機能の利用率は低い。との調査結果が示された。

このことから、周知している側と受け取る側のツールに差異があることが確認された。

そこで、これまでより幅広く情報発信を行うため、全年代が平均して高い利用率が示された「Instagram」の新規登録について起案致します。

• Instagramの種類について

個人アカウント

一般的に普及しているサービスであり、登録には電話番号または、メールアドレスを要する。

プロアカウント

個人が主に活用する「クリエイターアカウント」と企業・店舗が主に活用する「ビジネスアカウント」の2種類。様々な機能が付加しており無料（一部有料）。

• Instagramの登録について

農業者トレーニングセンターで使用しているGmailアドレスを用い登録。

標茶町、標茶町教育委員会としての公式ではなく、農業者トレーニングセンター（セクション）単位でのアカウント登録としたい。

• Instagramの運用方法について

利用者、利用団体の方に任意で登録して頂く。

情報の周知活動については、利用者間のプライバシー保持のため、ビジネスアカウントの方を作成し、こちらからのフォローとフォロバはせず投稿のみとしたい。

情報内容として、トレセン・プラザ等の施設利用状況、イベントの告知、利用団体の様子などを考えています。（都度、掲載許可の確認をとる）

投稿頻度としては週1回以上を目標とする。

なお、個別メッセージへの対応については、内容により返答を予定している。（施設の空き状況、利用料金の問い合わせなど）

• 運用の検証について

個人情報の保護を第一前提としながらも、利用者の要望をメインとして定期的に運用方法については見直しを行いたい。